

02

八坂地区社会福祉協議会

気配りの種まき
福祉の芽が出る明るい八坂

地区の概要

面積	0.57k㎡	
人口	5,233人	
世帯数 (1世帯当たりの人口)	3,033世帯(1.7人)	
高齢者数(高齢化率)	1,451人(27.7%)	
民生委員・児童委員 (主任児童委員)	16人(2人)	
町内会・自治会・ 区長会等	28ヶ所	

八坂地区は石手川沿いに、東西に長く位置し、八坂の名の由来は京都の祇園神社にまで遡る。明治4年に祇園神社は八坂神社と改称されたが、八坂に古くからあった祇園神社も「八坂神社」と改称されたようである。そして周辺の町名も八坂町と呼ばれるようになったと思われる。明治27年に南八坂町に松山第3尋常小学校が開校し、持田や素鷲の方からも子供たちが通っていた。この頃から通学区域を八坂校区と呼ぶようになった。現在、八坂校区には30の町がある。行政上の住所表示と異なり、昔からの町名の多くが脈々と生きているのが、わが町「ふるさと八坂」である。

町の人々の交わり、地方祭などの諸行事や生活上の色々な点で、今も昔からのそれぞれの街の強い絆を守りつづけている。

地区社協の概要

主な活動拠点	八坂公民館
構成メンバー	会長(1名)、副会長(3名)、事務局長(1名)、会計(1名)、理事(16名)、 評議員(24名)、監事(2名)、援護部長(1名)、啓発調査部長(1名)、 共同募金部長(1名)
理事会等の開催	理事会(年3回)、評議員会(年1回)、総会(年1回)
構成関係団体	民児協、広報委員会、公民館長、婦人会、高齢クラブ、町内会、小学校、PTA
主な自主事業	地域福祉サービス事業、ふれあい・いきいきサロン事業、福祉学習事業、 文化財めぐり事業、健康教室、地区敬老会、福祉だより作成、 高齢者一人暮らし親睦会、一人暮らし高齢者弁当配布 ほか
サロン数	ふれあい・いきいきサロン 3ヶ所
地域福祉活動計画の 策定状況	平成16年度策定 基本理念「気配りの種まき 福祉の芽が出る明るい八坂」